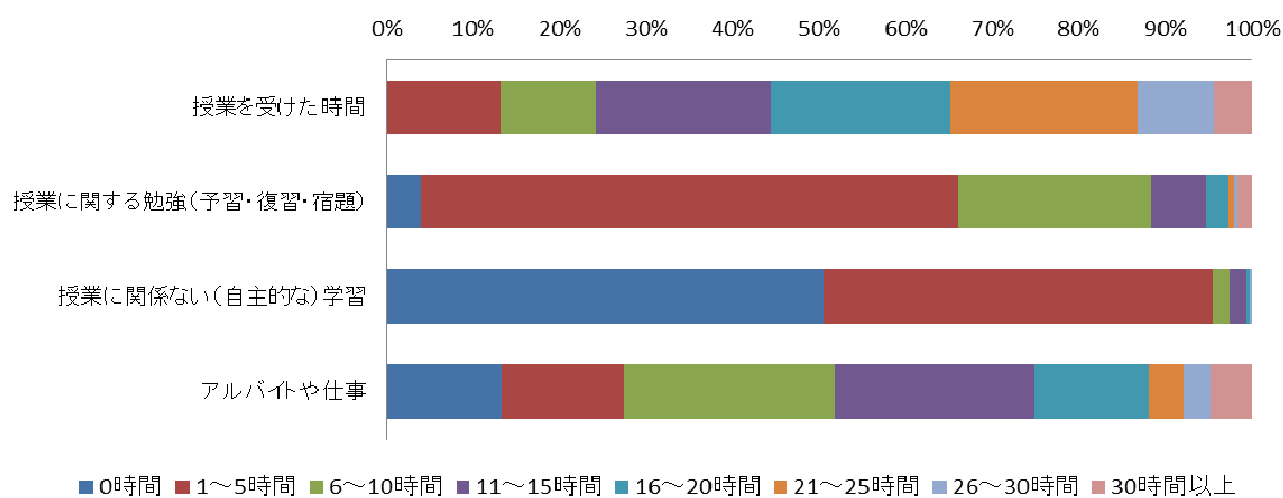


2021 年度 学習時間・学習実態のアンケート調査（短大生調査）結果

- 調査対象 2021 年度 1.2 回生全員
- 調査時期 2021 年 9 月
- 調査方法 Web 調査
- 有効回答(集計)者数 437 名 (回収率 95.2%)

※2021 短大生調査 短期大学基準協会会員校の内 73 短期大学が参加（調査対象学生数 20,076 名）有効回答（集計）者数 16,575 名
『短期大学学生に関する調査研究－2021 年調査 全体集計結果報告－』 2022 年 3 月 一般財団法人短期大学基準協会より

A. あなたは今学期のふつうの 1 週間の中で、次の活動にどれくらい時間を費やしましたか。

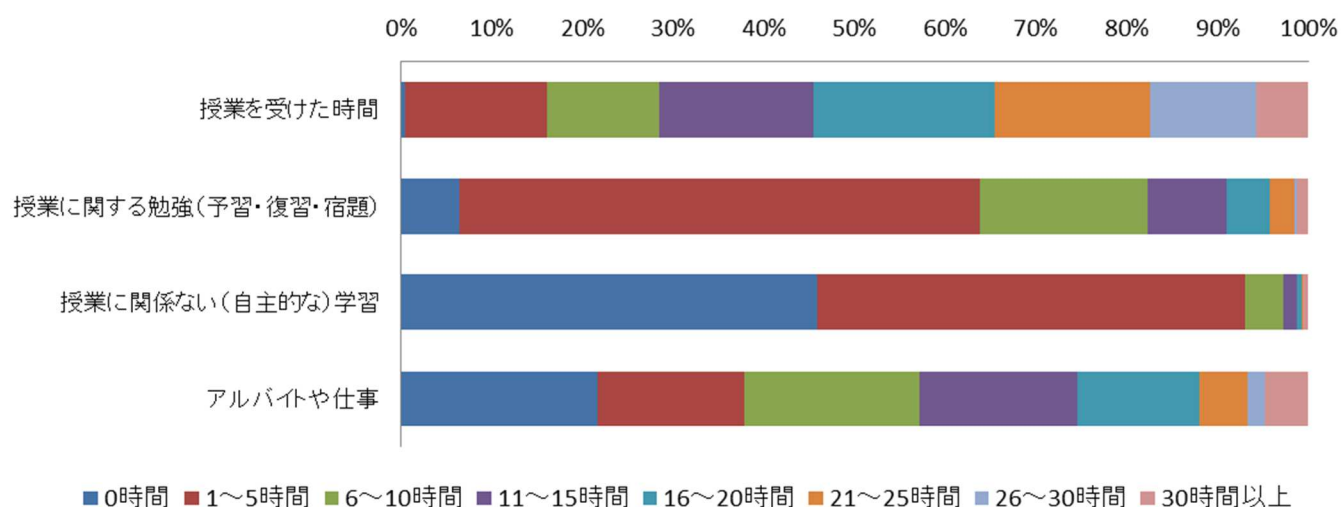


2020年度 学習時間・学習実態のアンケート調査（短大生調査）結果

- 調査対象 2020年度 1.2回生全員
- 調査時期 2020年12月
- 調査方法 Web調査
- 有効回答(集計)者数 415名(回収率91.8%)

※2020短大生調査 短期大学基準協会会員校の内67短期大学が参加(調査対象学生数20,302名)有効回答(集計)者数17,032名
『短期大学学生に関する調査研究-2020年調査 全体集計結果報告-』2021年3月 一般財団法人短期大学基準協会より

A. あなたは今学期のふつうの1週間の中で、次の活動にどれくらい時間を費やしましたか。

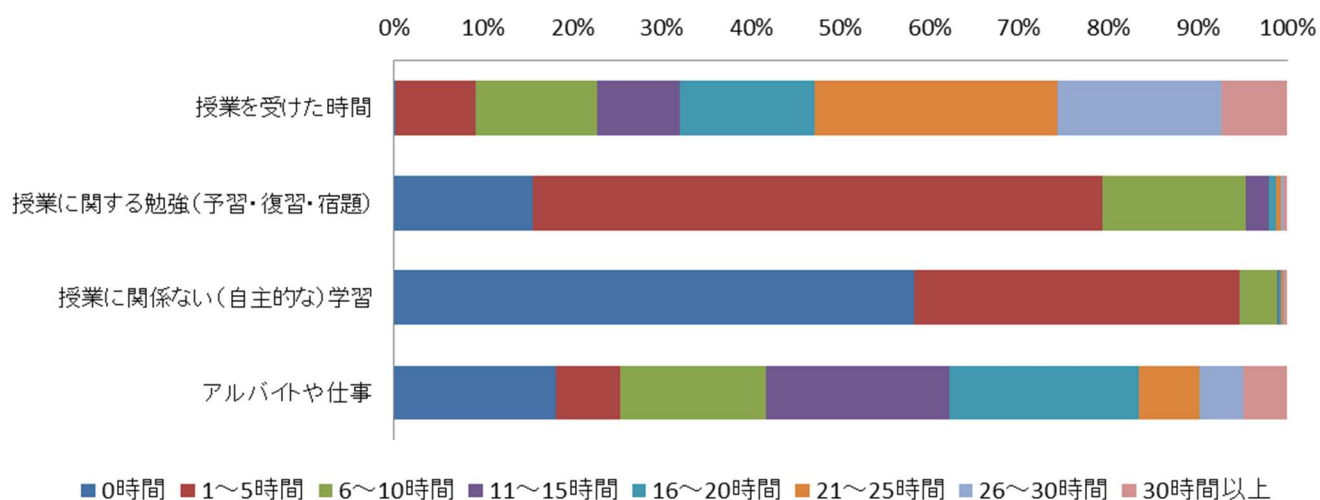


2019年度 学習時間・学習実態のアンケート調査（短大生調査）結果

- 調査対象 2019年度 1.2回生全員
- 調査時期 2019年12月
- 調査方法 質問紙調査（設問冊子・マークシート）
- 有効回答(集計)者数 429名（回収率88.6%）

※2019短大生調査 短期大学基準協会会員校の内79短期大学が参加（調査対象学生数23,495名）有効回答（集計）者数20,849名
『短期大学学生に関する調査研究－2019年調査 全体集計結果報告－』2020年3月 一般財団法人短期大学基準協会より

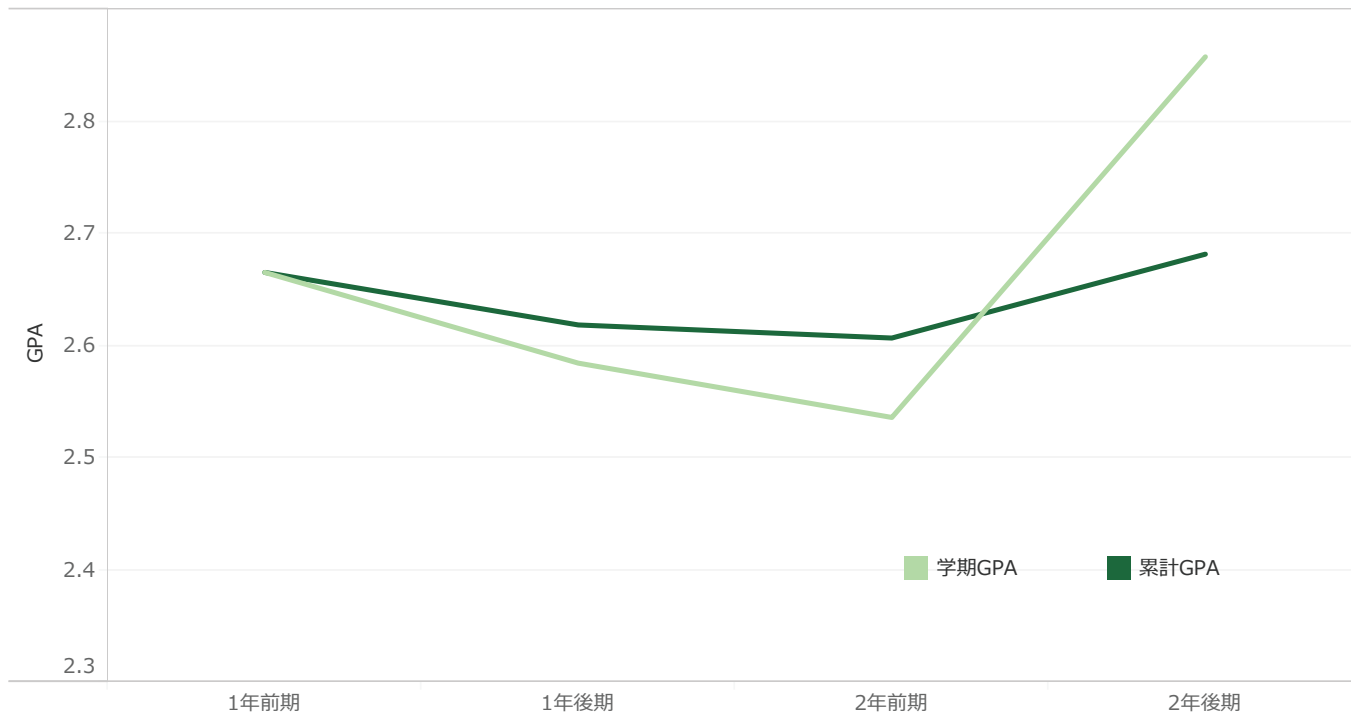
A. あなたは今学期のふつうの1週間の中で、次の活動にどれくらい時間を費やしましたか。



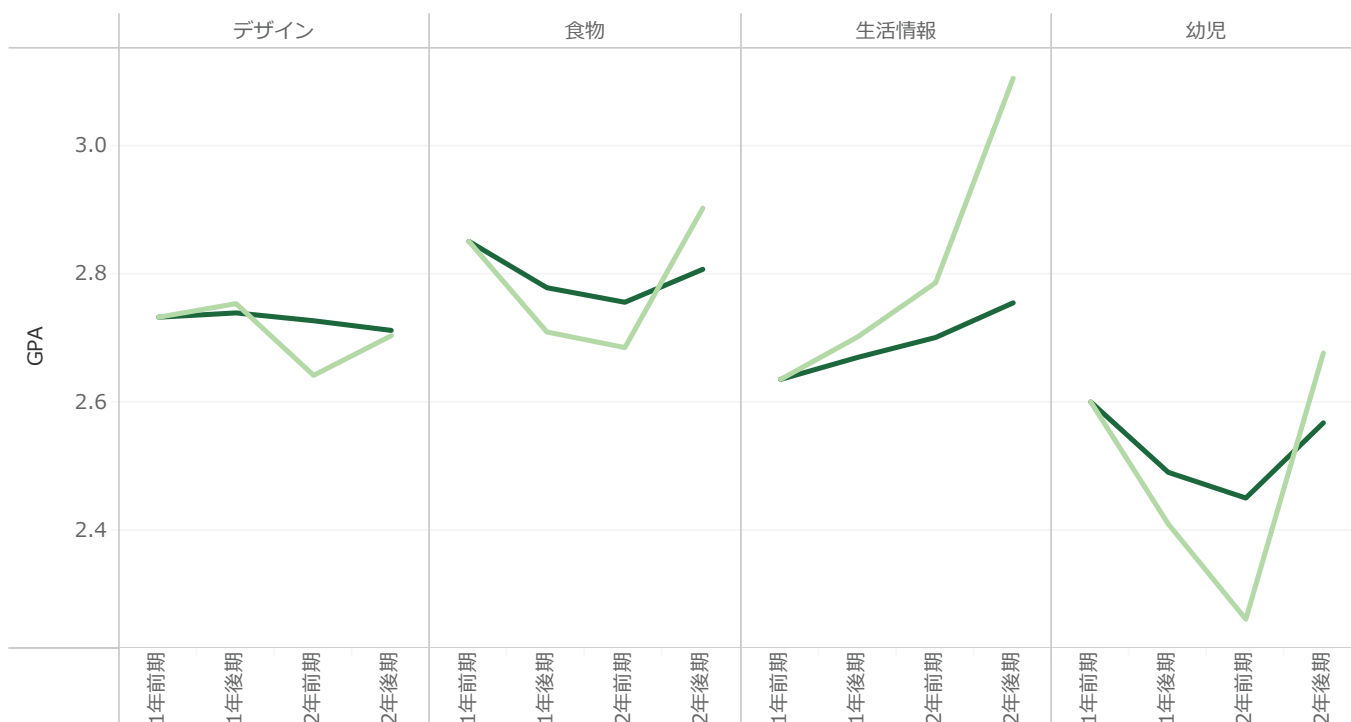
2年間のGPA推移 - 2020入学生を対象として -

以下は、2020入学生の累計GPA（その期終了時まで履修した全科目のGPA）および学期GPA（その期における履修科目のGPA）の推移を示している。上段は2020年度入学生全学生をプールした結果を、下段は学科・専攻別に分けた結果を示している。

全学生



学科・専攻別

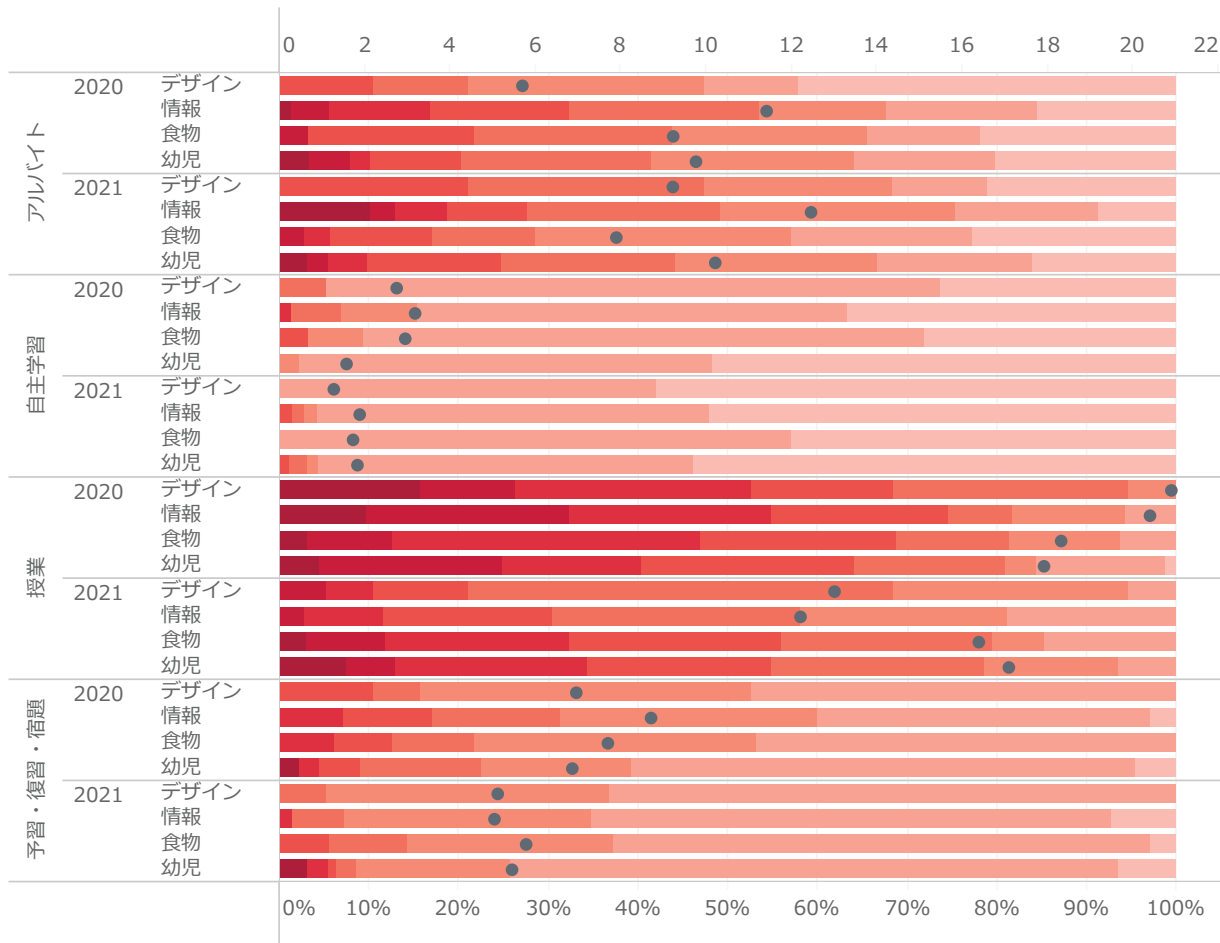


※縦軸は2020年度入学生の各期における累計GPA（緑）および学期GPA（黄緑）の平均値を示す。各期の学期GPAが0の学生、休学後の復帰学生、および科目等履修生はデータから除外した。

各種活動時間 -2020入学生を対象として-

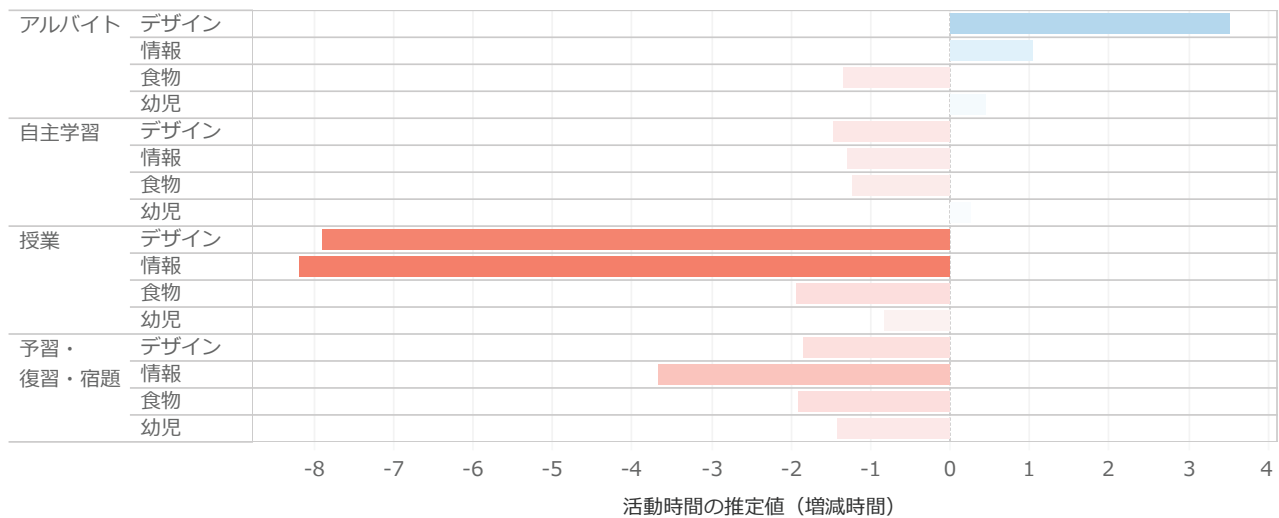
上図は2020年度入学生を対象とした1年次（2020調査分）および2年次（2021調査分）の各種活動時間を、下図は1年次と2年次の各種活動時間の差を示す。※ 活動時間は短大生調査における各学生の回答値から推定したもの

アルバイト時間は情報デザイン専攻の学生が多かった。授業時間は1回生時は情報およびデザインで多く、2回生時は食物栄養および幼児で多かった。また、予習復習時間は全学科専攻で2回生時に減少した。



※図は2020年度入学生の1年次（2020）および2年次（2021）の活動時間に関する回答結果を示している。短大生調査では、各種活動に対し0時間から30時間以上を5時間毎に分けた8件法により活動時間を調査している。積み上げ棒は回答比率（下軸）を示しており、赤色が濃いほど活動時間が長い。図中の○は回答値の中央値（例:1~5時間を選択した場合は3）を各学生の活動時間と仮定したときの学科・専攻毎平均活動時間(週あたり)を示している。

活動時間の変化（1年次と2年次の差）

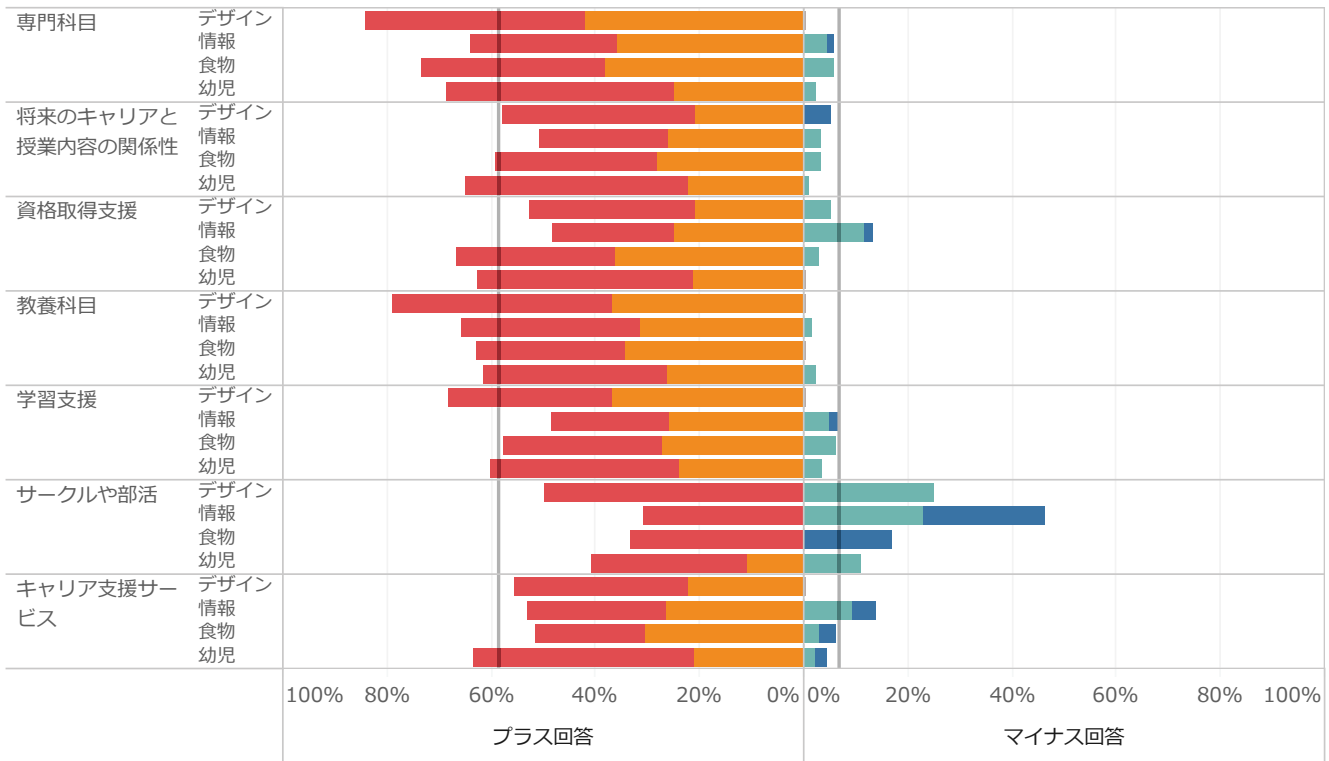


※ 図は2年次と1年次の推定活動時間の差を表している。2年次の活動時間が長いほど青色が、1年次の活動時間が長いほど赤色が濃く表示される。

本学の満足度と評価

本学の満足度（2020入学生_2年次調査分）

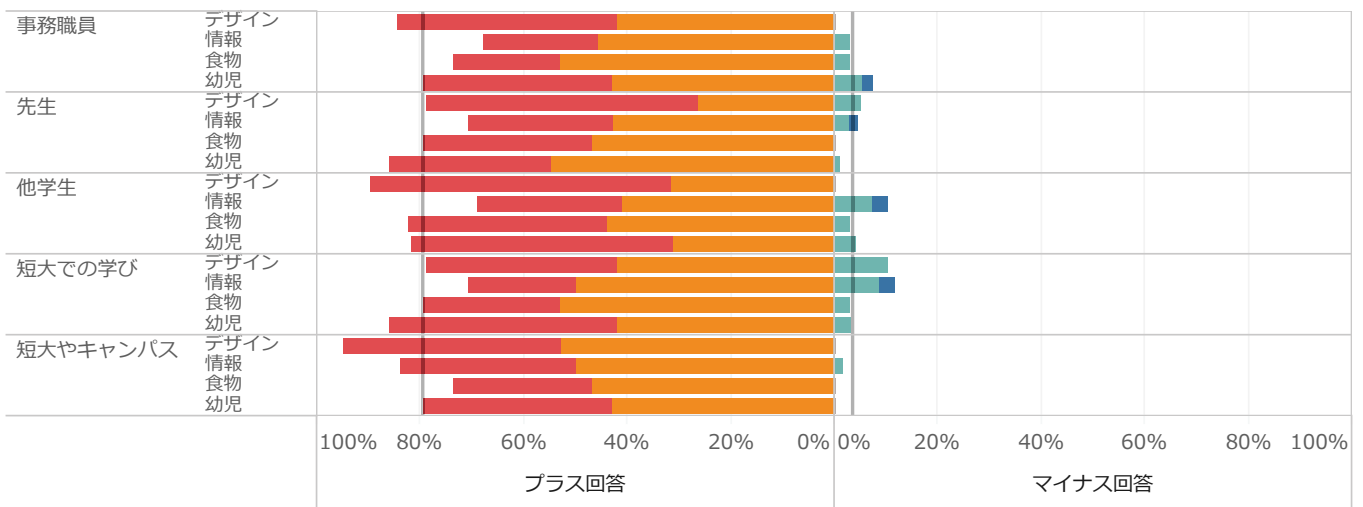
以下は2020年度入学生の2年次における各種満足度の調査結果(短大生調査より)を示す。サークルや部活動においてマイナス回答の比率が多く、不満を抱いている現状がわかる。最も満足度が高かった（プラス回答比率が高い）のはデザインの専門科目である。



※学生は各満足度に関する項目に対し、5件法（5:満足,4:やや満足,3:普通,2:やや不満,1:不満,9当該なし）で回答した。当該なしと回答した学生はデータから除き、プラス回答（5[赤]および4[オレンジ]）およびマイナス回答（2[水色]および1[青]）の割合を横軸に示した。グラフ内の灰色実線はプラス回答比率およびマイナス回答比率の平均値を示す。

総合評価（2020入学生_2年次調査分）

以下は、2020入学生の2年次における本学に対する各種総合評価（短大生調査より）を示す。最も評価が高いのはデザイン専攻の「短大やキャンパス」であった。また、不満がややみられた項目として、生活情報およびデザインの「短大での学び」、そして生活情報の「他学生」等が挙げられる。



※学生は短大に対する評価として各項目に対する評価を5件法で回答した。各項目の評価の観点は事務職員（親しみやすい、一体感を感じる、一緒にいたい）、先生（話しかけやすい、助けになってくれる、共感・賛同してくれる）、他の学生（親しみやすい、一体感を感じる、一緒にいたい）、キャンパス（居心地がいい、快適である、落ち着く）、短大での学び（十分学べている、楽しかった、意味があった）である。プラス回答（5[赤]および4[オレンジ]）およびマイナス回答（2[水色]および1[青]）の割合を横軸に示した。グラフ内の灰色実線はプラス回答比率およびマイナス回答比率の平均値を示す。